

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	第一三共ケミカルファーマ(株)小田原工場 新管理棟地建設工事	階数	地上3F
建設地	小田原市高田477番地	構造	S造
用途地域	工業専用地域、第5種高度地域	平均居住人員	60人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,400時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年8月7日
敷地面積	6,947㎡	作成者	(株)日立建設設計
建築面積	807㎡	確認日	2015年8月10日
延床面積	2,207㎡	確認者	(株)日立建設設計



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 車寄せを持つ顔となるファサードを形成しつつ、全体として無駄の少ない計画とする。 厚生施設として一般的な性能を確保しつつ、自然光利用・熱負荷制御で快適な室内環境を作る。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 屋光センサー・人感センサーの設置 複層ガラスの使用	<b>Q2 サービス性能</b> ゆとりある階高(4.2m)を確保し、メンテナンス性・更新性に考慮している	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 車寄せを配し、来客動線の整理を行っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁に断熱サンドイッチパネルを採用 事務室にライトシェルフ、食堂にトップライトを設置し自然光利用を積極化している LED照明を採用	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上げ材が容易に分別可能	<b>LR3 敷地外環境</b> 十分な規模の駐車場確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される